

会期／令和8年

1月24日(土)～3月22日(日)

香りのコレクション展

熊野御前と

藤の香り



観る・創る・学ぶ — 香りの夢空間
磐田市香りの博物館
The Museum of Fragrance, Iwata

[入館料] 一般：310円(260円) 学生(高校生以上)：200円(160円) 小・中学生：100円(80円)
※()内は20名以上の団体割引料金 *65歳以上は証明書提示で260円に割引
[開館時間] 午前9時30分～午後5時30分(入館は5時まで) [休館日] 月曜日(2/23は開館、翌日閉館)
[主催] 磐田市香りの博物館
[後援] 磐田市、磐田市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社 [協力] ひと・ほんの庭にこっと

香りのコレクション展

熊野御前と 藤の香り

磐田市香りの博物館の近くには平安時代の姫、熊野御前お手植えと伝わる「熊野の長藤」があります。樹齢約八五〇年になるその藤は毎年春の終わりに美しい花を香りと共に届けてくれます。今回の香りのコレクション展は熊野にまつわる作品を紹介しながら、和の香りや香道具など当館の収蔵品を展示いたします。



屏風「熊野」 作：乾南陽



絵物語「熊野御前」の原画公開!!



絵：狩野ふきこ

熊野御前（ゆやごぜん）

平安時代末期、池田の宿の長者の娘として生まれ、美しさと賢さで評判となり時の権力者平清盛の三男、平宗盛に仕え寵愛を受けた女性。都に住んでいる時に故郷の母が重い病氣との報せをうけ、故郷に帰りたく願うが熊野と離れがたい宗盛は許可しない。春の桜見物の際に、熊野は故郷に残した病氣の母を想いながら歌を詠む。

いかにせん

都の春も惜しけれど

なれしあずまの花やちるらん

（都も離れがたいが、故郷で命を散らそうとしている母が心配です）この歌が宗盛の心を動かして故郷へ帰る許しを得る。故郷に帰り母との再会を喜ぶが母は看病的甲斐なく、亡くなってしまう。さらに平氏一族が源氏に滅ぼされ、宗盛も戦死したとの悲しい報せが熊野のもとに届く。熊野は母や平氏一族の魂を慰めるために尼となり、念仏堂を建て朝夕祈った。かつて念仏堂があった場所は行興寺となり、境内では熊野が植えたと言われる「熊野の長藤」が春の終わりに花を咲かせる。

❖ 藤にまつわる香道具 ❖



ふじぼたんくさばなまき えごうだんす
藤牡丹草花蒔絵香単筒
(江戸時代)



ふじまきえんぼ
藤蒔絵沈箱
(江戸時代)



まつふじまきえごうだんす
松藤蒔絵香棚 (江戸時代)

❖ 現代作家の和の香り ❖



ようさいこうろ
燿彩香炉
作：徳田八十吉



せんげめじろこうごう
染牙目白香合
作：中村雅明

企画展関連イベント

❖ ギャラリートーク

担当の学芸員が屏風絵「熊野」を中心に日本の香りについて解説いたします。

2026年
1月25日(日) / 2月22日(日) / 3月8日(日)
時間 10:00~

〔会場〕香りの博物館 2階 エントランス
〔参加費〕入館料

❖ 聞香を楽しむ会

心を傾けて香りを味わうことを「香りを聞く」と言います。手に取まる香炉で1片の香木の香りをゆっくり味わっていただく体験です。

2026年 1月25日(日) / 3月8日(日)
時間 11:00~12:00

〔会場〕香りの博物館 2階 エントランス
〔参加費〕入館料(自由に体験していただけます。)



〔交通のご案内〕
・東海道本線 / 豊田町駅下車北口より徒歩約5分
・東名高速道路 / 浜松I.Cまたは磐田I.Cより約20分
・遠州豊田スマートI.Cより約15分
・新東名高速 / 新磐田スマートI.Cより約20分
・磐田バイパス / 森岡I.Cより約5分

観る・創る・学ぶ — 香りの夢空間
磐田市香りの博物館
The Museum of Fragrance, Iwata

〒438-0821 静岡県磐田市立野2019-15
TEL. (0538) 36-8891 <https://www.iwata-kaori.jp>

ミュージアムショップ

熊野の長藤の香りをイメージした当館オリジナルの香水「藤かほり」やその他、香りに関する品物を多数取り揃えております。

